

本院増築部分完成

一月より使用開始



新年より使用開始の新館

一昨年十一月より開始されていた玄々堂君津病院増築部分が完成し、一月一日より使用を開始した。今回の増築部分は地上三階地下一階建てからなり、一階は事務部門（外来・入院受付）、二階は医局・手術室・薬局、三階は病棟、地下は栄養科（事務室・厨房）・薬品管理室となっている。又、新しくエレベーターも設置された。増築工事に伴い新建築基準法改正により、屋上にあるベントハウスも改修された。



ベントハウスの改修工事

年頭の挨拶 (要旨)



院長 茅野 嗣雄

昨年末に増築部分がほぼ完成し、逐次使用開始した。さまざまな新しい機器、新しい手順も同時に採用、開始されているので、出来るだけ早く完熟していただきたい。本年の目標を掲げる。

「本年の目標」

- ①増築改修ならびに新しい機器導入により医療環境のハードウェア部分が整備された。これから、1年かけてソフトウェアの整備に専念する。出来るだけ早く習熟してもらいたい。
- ②各部署、各人がおのおのの役割をしっかりと把握し、業務の意味内容・目的を十分に理解し、責任をもって実行してもらいたい。
- ③会議時間の短縮（2時間以内が原則）；あらかじめ整理、議題を絞って集中討議の習慣を付けてもらいたい。また、きちんと記録し、必要な伝達は出来るだけ早くおこなうこと。
- ④LANが完成する。使用には充分習熟してもらいたい。あくまで情報伝達のtoolであることを忘れず、口頭・文書・電話・FAXに加えてLANをTPOで使い分けること。大切なことは、情報の共有であり、客観的かつ的確な判断である。
- ⑤コスト意識の徹底；ヒト・モノ・カネ・時間すべてに無駄を省き、節約に努めてもらいたい。
- ⑥ホスピタルマナーの向上；社会人としての良識を養い、質の高い医療のために役にたてること。
- ⑦Informed consentの徹底；患者さんに対してだけでなく、おたがいに分かり合うためにも。
- ⑧ボランティア活動の受け入れと協力；本年も引き続き、推進していきたい。
- ⑨看護学校その他の教育実習受け入れ準備；教育は病院・個人の質的向上に繋がる。
- ⑩広報活動の促進；ヒューマン、パンフレット作成、社会活動等いろいろな形で取り組む。

Wilkerson教授、本院の在宅ケアを見学

十月二十九日、ベンシルバニア大学看護学部Wilkerson教授による在宅ケア見学が本院で行われた。今回の来日は日本学術振興会外国人招へい研究者として千葉大学の草刈淳子教授らが招いたもの。



Wilkerson教授、訪問看護ステーションにて

恒例新年もちつき会 新館にて行われる

一月五日、毎年恒例の新年もちつき会が、一月一日より使用開始となった新館一階待合ホールにて行われた。



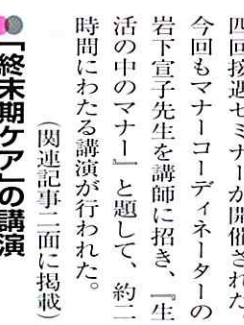
思わずかが入るもちつき会

患者さんより 医療機器・図書などの寄贈

昨年、患者さんより二件の高額な寄贈があった。一件目は医療機器「患者監視装置」で、現在透析室に設置され有効に利用されている。二件目は浜名儀一氏による三七冊の図書、デジタルビデオカ

第四回 接遇セミナー開催

十月二十三日、管理棟大会議室に於いて、八十名の参加のもと第四回接遇セミナーが開催された。今回はマナーコーディネーターの岩下宣子先生を講師に招き、「生活の中のマナー」と題して、約二時間にわたる講演が行われた。



「終末期ケア」の講演 講師として参加

「終末期ケア」の講演 講師として参加

十二月二十日、君津市中央公民館に於いて、大神ヨシ子総婦長、大滝典子看護婦により、「終末期ケア：私が私らしく生きるために」と題し講演が行われた。福寿草の会の会員二十五名の参加があり、盛況のうちに閉会した。

君津市健康まつりに参加

十一月二十二日、君津市民文化ホールに於いて、君津市健康まつりが開催された。当院からは、関根明放射線技師、城之内清美管理栄養士が参加し、骨塩定量、栄養相談が行われた。

屋内消火栓操法大会に参加

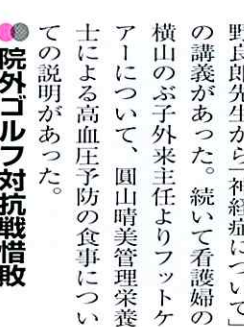
十月二十九日、第十八回君津市自衛消防屋内消火栓操法大会が、同市民文化ホール駐車場にて行われ、当院からは男女2チームが参加した。



屋内消火栓操法大会に参加した女子チーム

第二十回 糖尿病教室開催

十二月六日、第二十回糖尿病教室が管理棟大会議室において開催された。今回は、帝京大学市原病院の荻野良郎先生から「神経症について」の講義があった。続いて看護婦の横山の子外來主任より「フットケア」について、圓山晴美管理栄養士による「高血圧予防の食事」についての説明があった。



院外ゴルフ対抗戦惜敗

院外ゴルフ対抗戦惜敗

十一月九日、ザ・カントリークラブ・ジャパンに於いて、関連病院の南大和病院とのゴルフ対抗戦が行われた。団体戦は惜しくも負けたが、個人戦では当院の茅野嗣雄院長が優勝し、山口稔部長が二位であった。

リーダー研修

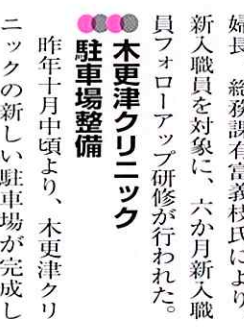
十月二十五日サンピア君津に於いて、院内スペシャリストコース導入の基盤作りをまとめ、一年間の研修を終了した。

入職二年目研修行われる

十一月十五日サンピア君津に於いて、入職二年目として今まで行ってきた看護のふりかえりと、今後の看護に役立てる為、研修を行った。

六か月新入職員 フロアアップ研修行われる

十一月十三日、二十日の二日間、管理棟大会議室に於いて二瓶律子婦長、総務課有富義枝氏により、新入職員を対象に、六か月新入職員フォローアップ研修が行われた。



木更津クリニック 駐車場整備

木更津クリニック 駐車場整備

昨年十月頃より、木更津クリニックの新しい駐車場が完成した。42台収容でき、車の来院がさらに便利になった。

秋の京都へ職員旅行

十月五日から三週にわたり、二泊三日の日程で職員旅行が行われた。今年の旅行先は京都で、参加者それぞれが秋の京都を満喫し、心身ともリフレッシュできたようである。（関連記事三面に掲載）

忘年会

十二月二十日、毎年恒例の忘年会がベイプラザホテル親月に於いて、二百数十名の参加のもと盛大に行われた。

坂田クリニック 工事進行状況

昨年9月より開始されていた工事も、現在すでに1階、2階部分の作業はほぼ終了している。これからは院内設備の整備、医療機器の導入等が行われる。2月の完成に向けて作業は順調に進捗中である。



完成間近の坂田クリニック

『病院ボランティアの紹介』



医療相談室 主任/伊藤ゆり子

ボランティア活動をしたことがありますか？

近年、国民のボランティアに対する意識が高まったと言われています。ある調査によると、国民の五〇〇万人が何らかの形でボランティア活動に参加したことがあるそうです。

「ボランティア」とは、「個人が自発的に決意・選択するものであり、人間の持っている潜在能力や日常生活の質を高め、人間相互の連帯感を高める活動である」といわれています。自らの意思で行うものであって、他人の強制ではなく、無償のものであります。そして、公共性や先駆性ももっています。例えば、老人ホームでのお手伝い、高齢者の家庭に温かい手作り弁当を届ける給食サービス、災害時の労力奉仕、海外での協力活動と、その活動の内容も場所も様々なものです。その活動の一つに「病院ボランティア」があります。



車椅子の介助

病院でボランティア？

病院は病気やけがをしたときに世話になるところと、とらえられています。そのためか健康なときは縁遠く感じられ、ましてや外部の人が来てボランティア活動をするところではないように思われがちです。入院や通院をしてみると、日常生活とは異なる場での戸惑いや不安など目に見えない不自由さ



ストレッチ体操の指導

を感じます。そんなとき少しでも患者さんやご家族の方に「ほっと」する気持ちを与え、精神的な支えとなり、安心して病院での生活を送っていただくために、病院の職員でなく、あえて一般の方でもお手伝いできる部分でボランティアが必要とされます。例えば、通院される方のタクシー乗り場での声掛けや車椅子の方への介助、小さな子供を連れて来た方が診察を受ける時のお子さんのお世話、入院中の患者さんとお話したり、お話を聞いたり、実に様々な活動が行われています。そして、当院でも平成四年より

当院の活動状況と今後の展開

病院ボランティア活動を受け入れていきます。

「地域の人々に愛され、信頼され、納得のいく医療サービスを提供できるよう努力する」という当院の基本的理念に基づき、病院ボランティアを受け入れ六周年となりました。現在、次に挙げる四つの活動が行われています。



入院患者の話し相手に

①ストレッチ体操の指導
毎週土曜日の朝、入院患者さんを対象に病棟でストレッチ体操を行います。



美容師のカットボランティア



シャワーボランティア

②お話しボランティア

入院患者さんとお話をします。誰でも病気のことで気持ちがめいってしまうことがあります。そんな時、一緒に散歩をしたり、話をすることで「ほっと」した気持ちになります。毎週火曜日、4階病棟入院中の方を対象に活動中です。



食事の介助

③シャワーボランティア
身体的に心配のない方を対象に、シャワーのお手伝いをします。毎週木曜日、4階病棟入院中の方を対象に活動中です。



ボランティア後の記録

④カットボランティア
入院中で、治療上・身体上外出が困難な方を対象に、月二回美容師さんがカットを行います。

当院の場合、ボランティア活動者は、まず君津市ボランティアセンターに登録し、そこから派遣される形をとっています。平成九年十二月現在、1グループと個人登録者合わせて十九名の四十代～六十代の女性が活動しています。しかし、現状では、活動体制上の側面から自由な活動が行い



入院患者とクリスマスパーティー

にくくなっています。現状の改善をはかり、なおかつ、活動の継続性という面からも、男性の方や若い世代のボランティアを受け入れていくための体制づくりが急務となります。このため現在、医療相談室では病院がボランティアグループを持つことへの体制づくりを行っています。多くの方に、趣旨を理解していただき、参加していただきたく願っています。活動に興味のある方は、ぜひ、医療相談室にご連絡下さい。

楽しみながら見につけようホスピタルマナー

ホスピタルマナー委員会 事務局

平成六年の年頭指針に「病院における接遇向上」があげられ、全職員で取り組むことを目的としたホスピタルマナー委員会が発足しました。今年で四年目に入ります。さまざまな活動がありますが、外部講師をお招きしてのセミナー開催もその一つです。岩下宣子先生のセミナーは大変好評で、今回は「生活の中のマナー」というテーマで講演をいただきました。内容の一部を紹介致します。

(1) 日常生活の中でのちょっとしたさりげないマナーは各人の意識の問題。さりげないマナーを身につけるには、三〇〇回同じ事を体で覚えれば良い。そうすれば、頭で考えて行動しなくても体が勝手に動きます。

(2) 人間の年齢には、実年齢と生活年齢がある。常に前向きに生きていく人とそれなりに生きていく人では、年齢が増すにつれてその差が広がっていく。

Wilkerson教授にインタビュー 日本とアメリカの在宅ケアの違い



ペンシルバニア大学 Wilkerson教授

Q アメリカの在宅ケアについて、日本と比べてお話し頂けますか？

A 今日見学した在宅ケアは、アメリカで私たちが行っているものと大変よく似ています。アメリカの入院日数は平均して五～六日です。で、点滴などをしながら帰宅します。又、ア



実際に在宅ケアを見学

メリカの女性は日本の女性よりも外で働くケースが多いので、重症の人がひとり家でいる事になり、在宅ケアが非常に重要となります。そのため日本よりも在宅ケアが多く受け入れられています。

Q 日本とアメリカの医療の違いについてお話し頂けますか？

A 病院内の医療についてはまだ見学していません。アメリカでは在宅において看護婦が診断を行っています。



熱心に見つめるWilkerson教授

Q 私たち医療従事者に何かアドバイスがあればお願いします。

A 在宅ケアにはいろいろなシステムが導入されて行われていますが、混乱しないよう一つの公的な組織で統一するよう、医療と社会福祉を結んで在宅ケアができるよう、努めることです。アメリカではカリフォルニア州とペンシルバニア州では習慣がかなり異なります。日本でも都市と地方では健康管理や在宅ケアについても異なるでしょう。システムはひとつの方が良いけれど、それに順応できるようなシステムが必要です。

シリーズ”病気を考える“ (20)

インフルエンザ

寒い冬はインフルエンザが猛威をふるう季節です。今回は誰もが感染の可能性があるインフルエンザについて、元東大分院小児科教授の早川浩先生に解説して頂きました。



元東大分院小児科教授 早川浩先生

1 インフルエンザとは

「インフルエンザとは風邪の親玉みたいなもので、寝ていれば治る」と思っている方が多いのですが、実はなかなか危険な病気なので油断はなりません。一九一八年スペイン風邪と呼ばれたインフルエンザが世界中に大流行し、第一次世界大戦の死者を上回る二千万人が死亡したことは歴史上有名であり、その後も繰り返し世界規模の大流行が知られてきました。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスがくしゃみや咳によって呼吸器粘膜に感染して発病する病気です。潜伏期は短く一〜三日で、発熱、筋肉痛、関節痛などの全身症状が強い点が、普通の感冒と違います。通常は数日から一週間程度で治癒しますが、六十五歳以上の高齢者や虚弱者、乳幼児などでは時に肺炎を合併することがあり危険です。急激の経過をとる重症型も知られています。また乳幼児では急性脳症や心炎を併発することもあって注意が必要です。このほか乳幼児ではライ症候群という特殊な脳症があります

2 インフルエンザの予防

このようにインフルエンザには多くの種類があり、年によって流行するタイプが違うので、それに免疫がない人は次々と感染し、発病してしまいます。その予防法としてはワクチン接種が最も一般的です。現在のワクチンは流行すると予想されたタイプのウイルスを鶏卵を用いて増殖させ処理したもので、二〜四週間間隔で二回接種します。インフルエンザのワクチンは現在は任意接種ですが、自分で積極的に医療などを受診して受けなければなりません。このワクチンは普通の風邪には無効ですから、「せっかくなので接種したのに風邪をひいてしまったので効かないか」と思われる方もいます。

3 インフルエンザの治療

インフルエンザに罹ってしまった場合の特効的な治療薬はまだありませんので、安静を守り、症状を和らげる対症療法をして回復を待つしかありません。合併症に対してはその治療が必要なのは、

趣味の欄

酒を悦びしむ

外来事務 濱田 志信



今回 この原稿の依頼を受けたものの、他人に自信を持って話しかける程の趣味がない事に気がついた私は、考えた場面に「お酒」について書かせて頂くと思えます。(無論、お酒についての知識

酒を悦びしむ

外来事務 濱田 志信

が豊富だからという訳ではなく、あくまでも飲む事を悦ぶだけでいい。そもそも私は、焼酎を晩酌に嗜む程度で、焼酎以外は殆ど口にしません。日本酒という悪酔いをするというイメージがあり、ワインは高価なものでなければおもしろいはずがないと敬遠していたからです。そのうえ私の場合、社会人一年目の席で、お酒を飲み過ぎて、テーブル上の土鍋の中へ粗相をしたという若さ故の苦い経験があったからだと思います。ところが、妻が日本酒を好きだった事もあり付き合いを始めた頃にたまたま一

酒を悦びしむ

外来事務 濱田 志信

緒に入った居酒屋で勧められた「菊水」がきっかけで、私はすっかり日本酒の虜になってしまいました。飲んでみると意外と飲み易く口当たりも良いうえ、酸があり、何ともいえないおいしさでした。他にも、「八海山」や「清泉」、「幸」等を飲んでいますが、やはり私個人としては、「菊水」が一番気に入っています。晩酌の友となつています。そして、目下の希望は、寒空の下でちよつとだけ鄙びた露天風呂で、ゆつくりと過ぎていく時間も気にせずに日本酒を飲みたいという事です。毎年、冬が近くなる度に思っていますが、一体いつ実現できるのでしょうか。

インフルエンザの予防

このほかうがい、手洗い、マスクなど伝統的な方法の予防効果は、確実ではないといえるものの多少は期待できるので、流行期には励行すべきでしょう。

このほかうがい、手洗い、マスクなど伝統的な方法の予防効果は、確実ではないといえるものの多少は期待できるので、流行期には励行すべきでしょう。

京都の思い出

外来事務 小林由美子

京都での三日間は色々な事がありました。何よりも京都でやってみたい事が私にはありました。それは、人力車に乗ること。人力車に乗って京都の町並みを見たい。と見るのが夢だったので。果たしてそれは実現しました。京都御所の近辺をさつと見ただけで、時間にして十五分程のことでしたが、夕暮れのせまる京都の町をさつと走り抜けるのはとても快感でした。はたから見ているとすぐ揺れそうなのに実際はそうでもなかったし、それに想像していたより速いスピードで走るので風が直に感じられて



念願の人力車に乗って

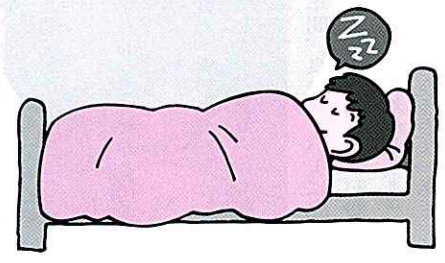
インフルエンザの予防

1. ワクチン接種
2. 手洗い・うがい
3. マスク
4. 人ごみの中に出ない
5. 体力をつける (バランスのよい食事・十分な睡眠)



インフルエンザにかかったら

1. 安静にする
2. 栄養をとる
3. ひどい時は受診する



職員旅行

2班

感動しました。京都には素晴らしい寺院や庭園が沢山あるけれど、その何よりも今回は人力車に乗れたことが最高にうれしかったです。またいつか機会があれば乗りたいです。皆さんも試してみたいかがですか？

初めての秋の京都 外来クラーク 白井史子



秋の京都を満喫

天高く、私肥ゆる秋

臨床工学技士 境澤雅也

十月二十日、本日は京都旅行二日目、朝から天気も良く絶好のお出かけ日和なのですが、今朝の新幹線内から始まり、日付が変わるまで続いた飲み会の御陰で、頭の中がぐわんぐわん廻っているではありませんか。やつの思いでベットから這い出し、朝食を済ませた後に、技士六人と副幹事長でもある美人クラークさん二人の計八人で、レンタを借りてドライブに行きました。最初は琵琶湖に行ってお土産用に酒とつまみを買って、次に比叡山で昼食を済ませた後また酒を買い、ホテルに戻った後もお土産用に買ったはずの酒を飲んでしまい、その日の夜も飲みに出かけました。帰りの新幹線内でも宴会はまだまだ続き、まさに花より団子の旅行でした。

で行ったのは今初めてだったの。京都には何回か旅行に行った事はありませんが、何度行っても歴史ある古都だけに見どころも多く、又、四季折々の風情と楽しめる魅力のある多彩な町でした。特に秋に行ったのは今初めてだったの



私流の旅行

職員紹介

透析室

今回は当院の特色を出している大所帯の透析室のメンバーについて紹介します。



大野 敬子
(副主任)
25年目



古江 洋子
(副主任)
11年目



郷田 芳子
(主任)
24年目



岡崎 陽子
(主任)
13年目



松永いよ子
12年目



大橋 澄子
13年目



西村 郁子
9年目



磯野かおり
10年目



加藤久美子
5年目



阿部 美樹
8年目



曾我百合香
12年目



榎本 洋子
13年目



広瀬 陽子
23年目



重松さち子
7年目



大胡 美香
3年目



吉岡久美子
3年目

透析看護婦

透析患者さんなら、必ずお気に入りの人(?)がいますね。これからも宜しくお願いします。



前沢 淳子
3年目



鈴木 綾子
4年目



二見 恵美
8年目



田畑小百合
5年目



西 ユリエ
7年目



大内 佳恵
1年目



大島 陽子
5年目



壇 美香
8年目



重城 隆子
6年目



高橋真由美
4年目



工藤 静子
5年目



長沢 千香
5年目



紺野扶三子
8年目



内橋 正宏
(副主任)
11年目



藤井 俊治
(副主任)
13年目



吉成 昭雄
(副主任)
10年目



三浦 國男
(主任)
20年目

臨床工学科



神子千江子
13年目

タフで疲れ知らず、大飯喰らいで酒と昼寝が大好き！話題豊富で頼れる俺達をよろしく。



刈込 秀樹
(副主任)
9年目

透析クラーク

透析患者さんから信頼され、可愛い乙女(?)と呼ばれるように誠心誠意努めて参ります。



緒方 亜樹
1年目



田中のぶ
4年目



石井 洋子
8年目

透析ナースエイド

私達の平均年齢52才。仕事は迅速かつ正確さをモットーに温室30℃玉の汗を流し奮闘中。若さの秘訣よく働き、よく眠る。



斉藤 スズ
16年目



小松美佐子
19年目



持田 和彦
10年目



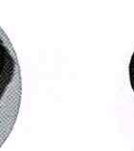
内田 茂男
2年目



立石 好行
2年目



斉藤 晃
2年目



露崎 雅也
5年目



吉田 一郎
11年目



伊藤 みつゑ
6年目



込宮 啓子
10年目



平野 聖浩
2年目



長谷川民世
1年目



早坂 正義
2年目



境澤 雅也
1年目



山口 曜
1年目



渡邊 仙志
1年目



高沖 智久
4年目



山口 裕伸
5年目

編集後記



今回のサブタイトルはこいぬ座のプロシオンです。実視等級0.4の黄白色に輝く星です。シリウス、ベテルギウスとともに冬の大きな三角形のひとつとなっています。

- ◆乱筆乱文の数々、汗顔の至りです。ではまたお会いしましょう。 H・M
- ◆二年の任期と頭上のタイムカードともお別れですか？ね？ H・M
- ◆今年度もいよいよ残すところあと僅か。来年度もヒューマンをよろしく！ K・T
- ◆一部の編集委員には申し訳ないですが、一足先に卒業します。二年間ご愛読ありがとうございました。 K・Y
- ◆今年も前向きで努力と精進とヒューマン。 M・Y
- ◆大変だったけどおいしかった？二年でした。これからは発行日が楽しみです。 S・T
- ◆二年間、良いメンバーに恵まれて楽しく新聞作りができました。心から...どうもありがとう！ Y・M